

新型コロナウイルス感染症対応について

現在、山口県は、「まん延防止等重点措置」の対象区域となり、2月20日（日）まで期間延長が決定されており、それに伴う感染防止集中対策が取られています。また、「新しい生活様式を踏まえた学校の行動基準」における感染レベルが「レベル3相当」に引き上げられています。

本校といたしましては、「サビエル高等学校 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」（HP掲載済）に基づき、日々のコロナ対応に取り組んでいますが、こうした状況を鑑み、これまで以上に、強い緊張感をもって、生徒の安全・安心と学びの保証の両立に取り組む必要があります。

つきましては、生徒の安全・安心を確保しながら、教育活動を継続するため、校内における感染防止対策を徹底するという視点から、教育活動等について、次のように対応することとしました。

ご家庭に置かれましても、引き続き感染予防の徹底にご協力くださいますようお願いいたします。

1 授業について

次の感染リスクが高い学習活動は当面控える。

- ・ 各教科等に共通する活動として「生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
- ・ 理科における「生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
- ・ 音楽における「室内で生徒が近距離で行う合唱、リコーダー、鍵盤ハーモニカ等の演奏」
- ・ 美術における「生徒同士が近距離で活動する共同活動等」
- ・ 家庭科における「生徒同士が近距離で活動する調理実習」
- ・ 保健体育における「生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」
※ 保健体育における運動時以外の場面では可能な限りマスクの着用をする。

2 部活動について

- ・ 可能な限り感染及びその拡大のリスクを低減させながら、なるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な距離を空けて活動する。
- ・ 密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向かい合って発声したりする活動は行わないようにする。
- ・ 原則、校内での活動のみとする。
- ・ 体育館や教室など屋内で実施する部活動については、その場所のドアを広く開け、こまめな換気や消毒液の使用など、感染拡大防止のための対策を実施する。
- ・ 部活動終了後はすみやかに帰宅する。
- ・ 部室、更衣室を利用する際は、短時間の利用とする。
- ・ 当面の間、学校が独自に行う他校との練習試合や合宿は行わない。

3 食事をとる場面について

- ・ 昼食時には、席を向かい合わせにせず、前を向き、黙食する。
- ・ 昼食後の会話等では、必ずマスクを着用する。

4 家庭との連携について

感染経路については、現在、「家庭内感染」が最も高い割合状況と示されています。学校内での感染拡大を防ぐためには、何よりも外からウイルスを持ち込まないことが重要であり、このためには各家庭のご理解とご協力も不可欠です。

つきましては、以下のことについて、ご協力をお願いします。

- (1) 生徒は、毎日の健康観察を確実に実施し、Classiの「健康観察アンケート」に入力する。
(平日においては、登校前に入力し、休日においても、入力する。)
- (2) 生徒本人のみならず、同居の家族の方も毎日の健康状態を確認する。気になることがあれば、生徒は、Classiの「健康観察アンケート」の「設問6その他」の欄に入力する。
- (3) 休日における不要不急の外出を控える。
- (4) 仲の良い友人同士の家間での行き来を控える。
- (5) 家族ぐるみの交流による接触を控える。
- (6) 発熱等の風邪の症状がある場合等には、別紙「新型コロナウイルスに係る出席停止について」に基づき、登校しない。

5 マスクについて

飛沫防止効果が最も高い不織布のマスクを推奨する。

別添「新型コロナウイルスに関する情報<<マスク編②>>データから見るマスクの効果」を参照してください。

6 感染者・濃厚接触者等に対する配慮

完璧な感染対策はなく、誰が感染してもおかしくない現状です。感染者・濃厚接触者等に対する配慮をお願いします。

7 駅伝大会について 1月29日(土)実施

次のことを徹底し、駅伝大会を実施します。

(1) 感染予防対策

- ① 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として次の事を遵守してください。
 - ・ クラッシーに健康観察を記入すること
 - ・ 発熱や風邪症状、咳・痰・胸部不快感、強いだるさや倦怠感のある者、および味覚嗅覚を感じない症状がある者は、参加を取りやめること
- ② 「マスクの着用」について
 - ・ 教員、補助員 ⇒ 常時マスクを着用
 - ・ 選手 ⇒ 競技中、練習中はマスクを外す。
競技、練習以外の観戦時等はマスクを着用
- ③ その他
 - ・ 消毒液の使用と手洗いを徹底する。
 - ・ ゴミや使用済みマスク等はビニール袋に入れて密閉し、各自持ち帰る。

(2) 試合運営

- ① 「応援」については拍手のみとする。
- ② 競技は無観客とするため、保護者の方等の応援はご遠慮願います。

「新型コロナウイルスに係る出席停止について」

医療機関を受診し、新型コロナウイルスと診断された場合や、その疑いがあると診断された場合は、「登校不可」とし、出欠の取扱いについては、「出席停止」とします。
 *受診した場合の、受診時の領収書のコピーは提出不要です。

訂正版

【2022年1月29日現在】

対象	状況	受診について	登校の可否	出欠の取扱い	その後の状況	登校の可否	出欠の取扱い	
生徒本人	発熱（37.0℃以上）	受診した	登校可	休んだ場合は、出席停止	—	—	—	
		受診しなかった	登校不可	出席停止	夕方、翌朝に熱なし	登校可	—	
	発熱以外の風邪症状	受診した	登校可	休んだ場合は、出席停止	症状の有無にかかわらず	登校可	—	
		受診しなかった	症状の程度によっては、登校可 (生徒・保護者で判断)		症状の程度によって	登校可	—	
	ワクチン接種後の 発熱（37.0℃以上）や風邪症状	—	接種後の次の日から起算して3日以内 であれば登校可	休んだ場合は、出席停止	—	—	—	
		—	接種後の次の日から起算して4日以上 であれば、発熱・風邪症状がある場合の 上記フローに従う。	—	—	—	—	
	濃厚接触者となった	—	登校不可	出席停止 感染者と最後に濃厚接触をした日の翌日か ら起算して2週間（オミクロン株感染者と の濃厚接触の場合は、10日間）	—	—	—	
	同居の方	発熱（37.0℃以上）	同居の方が、受診した	登校可	休んだ場合は、出席停止	—	—	—
			同居の方が、受診しなかった	登校不可	出席停止	発熱があった方に夕方、翌朝に 熱なし	登校可	—
		発熱以外の風邪症状	同居の方が、受診した	登校可	休んだ場合は、出席停止	発熱があった方に夕方、翌朝の どちらかに熱あり	登校不可	出席停止
同居の方が、受診しなかった			症状の程度によっては、登校可 (生徒・保護者で判断)	症状があった方の、 症状の有無にかかわらず		登校可	—	
濃厚接触者となった		—	濃厚接触者の方の、検査結果が出るまで 登校不可	出席停止	症状があった方の、 症状の程度によって	登校可	—	
					濃厚接触者の方の、検査結果が 「陰性」	登校可	—	
濃厚接触者の方の、検査結果が 「陽性」	本人が濃厚接触者の場合の 上記フローに従う。	—	—					

\New/ 新型コロナウイルスに関する情報《マスク編②》

データから見るマスクの効果

新型コロナウイルスの感染拡大で、マスクを着用する人が世界的に増えました。マスクには、ウイルスや細菌、PM2.5のカットが期待できる高性能なものがさまざまあります。ただ、そうした優れた機能があっても、正しく使用されないとなかなか効果を発揮しないことが、豊橋技術科学大学提供「マスクの効果（実際に人がマスクを着用して行った実験）」で明らかになりました。

そこで今回は、ダブルマスク、ナノフィルターマスク、N95マスクを実験対象として追加し、より誤差のないデータを得るために前回発表時よりもさらに、多い188枚以上のマスクを使って実験を行いました。

その最新結果と「正しいマスク着用法」を掲載することといたします。

■ マスクの効果

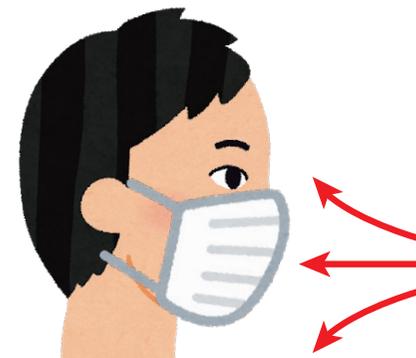


●吐き出し

飛沫の吐き出し量は、ウレタンマスクでも50%弱まで抑えられることがわかりました。布マスクでは24～28%、不織布マスクを正しく着用すれば、約18%と、対面する人への放出量を減らす効果が高くなります。

●まとめ

正しくマスクを着用すればウイルスの吐き出し量も吸い込み量も減少するといえます。ただ、小さなエアロゾルはマスクでは一部しか捕捉（遮断）できず、また、漏れ出たエアロゾルは空気中に長時間漂いますので換気も重要です。正しいマスクの着用と換気を組み合わせることで新型コロナウイルスに感染するリスクを大きく下げられます。



●吸い込み

布マスクの着用で、飛沫の吸い込み量はマスクなしと比べて48～70%程度、不織布マスクを正しく着用すれば約25%、ダブルマスクなら16%、N95マスクを密着して使用すれば、吸い込み量はほぼ抑えられることがわかりました。

■情報提供：豊橋技術科学大学・飯田研究室



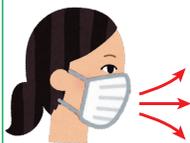
●「新型コロナウイルスに関する情報《マスク編②》」を転載または引用する場合は下記にお知らせください。

株式会社 全音楽譜出版社 <https://www.zen-on.co.jp>

〒161-0034 東京都新宿区上落合 2-13-3 TEL. 03-3227-6270 (2021年7月現在)

マスクの効果(実際に人がマスクを着用して行った実験結果)

©2021 豊橋技術科学大学・飯田研究室
©2021 株式会社全音楽譜出版社

実験条件	なし	ウレタンマスク 22種類		布マスク 64種類		不織布マスク 67種類		ダブルマスク※1 17種類	ナノフィルターマスク※2 8種類	N95マスク※3 10種類
			フィルターなし	フィルター入り	ルーズ	フィット	内側:不織布マスク 外側:布マスクや ウレタンマスク	分子レベルの 超極細素材マスク	医療用マスク	
										
	吐き出し飛沫量									
	0% カット	52% カット	72% カット	76% カット	76% カット	82% カット	86% カット	94% カット	99% カット	
	吸い込み飛沫量									
	0% カット	18% カット	30% カット	52% カット	55% カット	75% カット	84% カット	84% カット	98% カット	

実際に人が市販マスクを着用して米国労働安全衛生局が定めたフィットテストプロトコルに基づいた試験を行い求めた数値: 粒子径0.015μm以上。

カット率は、各カテゴリーごとに用意した多数のマスクを使用して行った実験結果の平均値です。

※1 ダブルマスク: 捕集効率の高い不織布マスクを顔にフィットさせるため内側に着用し、布製マスクを外側に追加した二重着用のことです。

※2 ナノフィルターマスク: ナノレベルの物質を捕集する超極細素材でできたマスクです。

※3 N95マスク: 米国労働安全衛生研究所のN95規格に合格した微粒子用マスクです。

マスク着用によって新型コロナウイルスへの感染を完全に防げるわけではありません。しかし、人と接する場面などでマスクを着用することは、着用しない場合に比べて、ある程度の予防効果があると考えられています。



■情報提供: 豊橋技術科学大学・飯田研究室

●「新型コロナウイルスに関する情報〈マスク編②〉」を転載または引用する場合は下記にお知らせください。

ZEN-ON 株式会社 全音楽譜出版社
https://www.zen-on.co.jp

〒161-0034 東京都新宿区上落合 2-13-3 TEL. 03-3227-6270 (2021年7月現在)

つけ方次第で効果が上がる!



スーパーコンピュータ富岳によって示されたデータで、「より良いマスクのつけ方」については左記の動画をご参照ください。(大王製紙・elleairエリエールのホームページより)

■出典: 豊橋技術科学大学・大王製紙株式会社
https://www.youtube.com/watch?v=26MDHomQU3Y